

就任の紹介

会瀬学区内関係者異動、変更、また、各種団体、関係者新任者を紹介します。【敬称略】

・会計監査 工藤義之

・社協事務局

富田 利一郎・小室 裕二



会瀬小学校
教頭 佐川 和人

この4月から、会瀬小学校に赴任しました、佐川 和人と申します。

今、一番に感じていることは、高学年の子供たちが、学校の顔として、素晴らしい活躍を見せてくれていることです。朝の登校班では、低学年の子がいれば、その歩調に合わせて、交差点では安全をしっかりと確認して誘導しています。また、自ら元気よく挨拶をしており、低学年の子たちに「先生にしっかりと挨拶しようね。」と優しく声をかけていました。

会瀬の子供たちや地域のために、少しでもお役立ちできればと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



会瀬小学校PTA 会長
おやじネット代表
八木 理

地域の皆様には、日頃から防犯ボランティア活動や学校の環境美化活動など、多岐にわたり温かいご支援を賜り心からお礼申し上げます。子どもたちを中心に地域社会全体が繋がって、共に学び、成長していく環境が作れるよう、地域の皆様、学校の先生方と共に、活動を進めていきたいと思っております。今後ともご指導ご協力よろしくお願申し上げます。



子ども会育成連合会
会長 松澤 信幸

日頃より地域の皆さまには、子ども会活動にご理解とご支援を賜り心からお礼申し上げます。

子どもたち一人一人がいきいきと楽しく活動できる行事企画や進行に取り組んでまいります。また、地域の皆さまと行事を通して会瀬地区の素晴らしい活動を受け継いでいけるよう、精一杯努めてまいります。

今後ともご指導とご支援ご協力をよろしくお願申し上げます。

令和4度コミュニティ各部・会瀬小学校 コミュニティスクールの活動開始

交通安全防犯部 嶋崎部長

新学期より248名の児童の登下校を安全に地域、学校、保護者が連携を図り見守り学区防犯パトロール隊活動をしていきます。

特に登校時は集合場所より高学年の班長・副班長が引率。



登校時保育園前での活動

環境美化部

小室 部長

各地区長を中心に不法投棄、違反広告物等環境悪化の場所の改善を、市の関連部門と連携を図ります。

青少年育成部

鈴木 部長

育成会、PIA、おやじネットワークと連携を図り元気づきクラブ、地域わんぱく隊(おおせ元気づき体験村)等、あらゆる体験を通して子ども時代を会瀬に住んで良かったと思う活動を行います。また、親子教室(未就学児)ひよこ・ちびっこくらぶ年3回を予定。

生涯学習部「会瀬浜太鼓」小塚 部長

5月より会瀬小児童3、6年生25名、中高9名、保護者2名他7名計43名で月2回土曜日に活動。

健康づくり部「健康づくりクラブ」坂本部長

「みんなて延ばそう健康寿命」を目標に5月12日(木)31名でスタート、令和5年3月まで26回。

地域防災部

染谷 部長

「避難所開設訓練、備品取扱研修会」昨年同様各種団体、関係者による避難所開設訓練、蓄品取扱等の研修会を11月26日(土)に実施。4年生は防災授業で参加。
・普通救命救護資格取得講習会は、新型コロナ感染症拡大防止問題が解決次第開催。

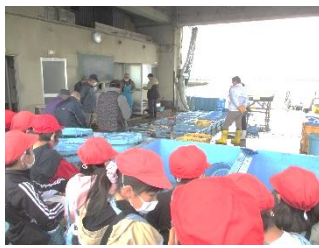
学区社協事業

- ・ 野外環境整備委員会
学校と連携を図り環境の整備
- ・ おもちやライブラリー 月4回
- ・ ふれあい健康クラブ委員会
- ・ ひだまりサロン(介護予防軽運動)
- ・ サロン虹(軽体操)

会瀬小学校コミュニティスクール

3年生 漁港見学

4月20日(水)に、社会科「わたしたちのまち みんなのまち」の学習の一環として、会瀬漁港を見学しました。
朝獲れた魚の仲買いの様子や漁港の仕事等の話を久慈町漁業協同組合会瀬支所河田漁港長に聞きました。
どんな魚獲れるのか・マンボウやサメも獲れるにびっくり。朝の4時くらいから魚をとっていることなどたくさん質問をしていました。



「ふるさと会瀬」から 通学路の変遷

会瀬小学校の東側土手を削る工事が行われている。常磐線と小学校との間の道路の拡張計画によるものであるが、この計画では小学校校庭南側の跨線橋「日の出橋」から会瀬洞門西を経て直線で常磐線沿いに日製正門通りと結ぶ道路計画である。洞門西の民家が移転し更地となり以前の街並み風景は見られなくなった。新しい道路の幅は14メートルで8メートルが車線で両側に2メートルの歩道が設置される計画だが、線路敷地の関係から小学校の土手側を大きく削ることになる。そのために校庭東側の樹木の多くは令和3年に伐採され、体育用具置き場や防災倉庫は移動し、貯水槽は校門東に新設された。土手を削って生じる大量の土は北の「寺の坂」に運び、ならかな斜面の道路づくり利用されていく。

本年度の工事予定は削った土手に新たな障壁の構築であって、その先の工事は次年度以後になる。

新しい道路が開通すれば旭町や相賀町からの小学生の通学路は当然変わっていくことだろう。1939年(昭和14年)開校からおよそ20年は、線路沿いの急な狭い「寺の坂」を下り水田沿いから人家のある丁字路(常磐線沿いの学校東の道路は昭和38年ころに開通)の洞門通りを右折し、学校下から学校へと進むのが登校路であった。

日製正門通りが洞門通りと交わったのは昭和25年ころで、学校からの道路が直線で現在の日製正門通りと交差し通学路として利用したのは昭和29年(1954年)以降である。時代とともに通学路も変わっていきます。改めて自分の小学校・中学校時代の通学路を思い出して下さい。



寺の湯跡から予定道路を望む

会瀬八景・ウォーキングコース

案内看板 リニューアル

会瀬青少年の家玄関付設置ある案内看板が4月8日リニューアルオープン内容も追加しました。「会瀬旧述」に記載されている会瀬八景は江戸時代に会瀬の海岸を散策して、季節にとらわれずに残った優れた風景を選び会瀬八景としています。また、会瀬の地名の由来では、

男女が逢って喜び合うことを逢う瀬(おうせ)ということから徳川光圀以後海岸

一帯を「会瀬」と称しました(詳細内容は看板に)

ウォーキングコースは
会瀬交流センターを出発して1時間コース・2時間コースの案内看板

です。散歩コースに
おすすめでお試しく下さい。

